

## 新型コロナウイルス緊急事態宣言を受けて

ウイルスから身を守るために。歯がないこと、それは免疫力を下げることに他ありません。

私たちの体は、口から食べ物を摂取し、消化器官である「腸」によって吸収されます。その際、食べ物だけでなく体にとって有害な細菌類も一緒に入り込んできます。そこで腸は、ウイルスや病原体の侵入を阻止するため「免疫細胞」が多く存在します。その数は体全体の70%に及び、体の中で最も強固な防衛システムを作っているのです。

一方で、口から食べ物を摂取する際、食べ物をしっかりと噛み砕かないと胃腸に負担がかかってしまいます。それどころか、食べ物を消化のために過剰に胃酸が分泌され、下部にあたる腸にダメージを与えてしまいます。そうすると腸が本来持つ機能が発揮できず、結果として、免疫力が低下してしまいウイルスに感染しやすくなるのです。そうならないために、しっかりと物を噛むための「歯」がなければいけません。

歯がない場所に噛み合わせを作る治療としては「入れ歯」がありますが、天然の歯に比べて食べ物をかみ砕く能力が20%ほどしかなく、実はほとんど飲み込んでいるような状況です。それでは当然胃腸に負担がかかってしまいます。インプラントは天然の歯と同じ顎の骨に固定されるため、しっかりと物を噛むことができます。よって、胃腸に必要以上の負担を与えることはありません。

歯がないことは、つまり体が本来もつ免疫力を発揮することができず、ウイルスや病原体に対抗できません。インプラントは、単に物を噛むことできる歯科治療のみならず、免疫力の源である「腸」の健康を後押しする重要な役割を担っているのです。インプラントでウイルスから身を守りましょう。